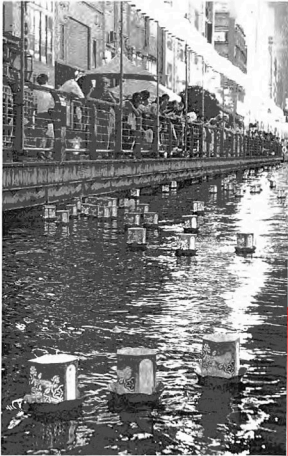




先祖思い 静かな祈り



紙灯籠約500個が道頓堀川に揺れた。大阪府中央区

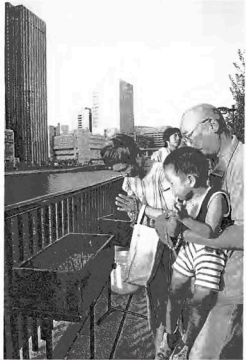
各地で供養 道頓堀川に紙灯籠500個

お盆の15日、大阪市の道頓堀川や堂島川で先祖をしのぶ供養が行われた。

ミナミの道頓堀川では、先祖への願いを託した紙灯籠約500個の光が川面に揺れ、参加者は静かに手を合わせた。

灯籠流しは、大阪府中央区の仏教会や地元商店街などが、繁華街を行き交う人たちにお盆の風情を感じてほしいと企画した。

大阪府東住吉区の矢尾初子さん(85)は「先祖さまのおかげで仲良く暮らしています。実行委員で本長寺住職の瀬川和久さん(60)は「灯籠の光が、周りの人との関係を見つめ直すきっかけになってほしい」と話した。



大阪

ニュースは
 社会部大阪総局
 TEL:06(6442)5245
 FAX:06(6345)8407

- 豊中駐在 TEL:06(6850)7320
 - 高槻駐在 TEL:072(671)1692
 - 枚田駐在 TEL:06(6386)6071
 - 東大阪駐在 TEL:06(6747)3302
 - 枚方駐在 TEL:072(841)5575
 - 富田科駐在 TEL:0721(25)5735
- 堂島川で孫と手を合わせる夫妻
 大阪府北区

また、北区中之島の堂島川では精霊流しが行われ、日没前から約200人があろうそくや線香を手に祈りをさげた。

精霊流しは、かつては船で供え物を運んでいたというが、河川環境の悪化などで中止され、現在は市の清掃車が供え物を受け取り、処分している。

地元町会で世話人を務める相谷澄さん(81)は「地元だけでなく市内外から大勢の人が来る。今年は戦後65年の思いを胸に手を合わせている方もいると思う。焼けてきてよかった」と、流れる汗をよきながら満足げに話した。

2歳の孫を連れ、吹田市から来た夫妻は「近くに精霊流しのできる場所がなく、毎年、ここへ来ています。お盆の習俗を孫にも伝えたい」と、3人で川面に向かって手を合わせた。

「かけになってくれば」と話した。